

# 稲作だより

第10号 刈取準備編

令和6年8月23日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動最上地域本部  
(最上総合支庁農業技術普及課) ☎0233-29-1333

## 早めの刈取り準備をしましょう

### 刈取適期を逃さないように

出穂後の高温で経過しているため刈取適期は例年に比べて早まる見込みです。刈遅れると茶米、胴割粒が増加し、品質が低下するため、品種別の刈取適期の目安（表1）を参考に刈取りの計画と収穫機械等の準備を進めましょう。

表1 品種別の刈取適期の目安

品種	出穂期	刈取適期となる 出穂後積算気温		刈取適期の目安		刈始めの 青糲歩合 (%)
		始	終	始	終	
ヒメノモチ	7/24	950	1,050	8/30	9/2	15
あきたこまち	7/29	900	1,100	9/2	9/9	15
はえぬぎ	8/5	900	1,150	9/8	9/18	20
雪若丸	8/7	900	1,150	9/11	9/21	15
つや姫	8/9	950	1,150	9/16	9/25	15~20

※新庄アメダスデータ（一部予測値）より算出

### 刈取り前に圃場の状況を確認

7月の大雨により冠水した圃場では、圃場内に流木やゴミが流入している可能性があります。流木やゴミは、収穫時にコンバインが噛み込んで故障する可能性があるため、圃場を確認しできる限り除去しましょう。

冠水が食味や品質に影響することが考えられるため、**被害のなかった圃場と区別して刈取り・乾燥調製**を行い、「つや姫」では**タンパク**が出荷基準を超過していないか必ず確認して、良食味米を出荷しましょう。

収穫機械や乾燥調製設備が浸水被害を受け、復旧が間に合わないことが想定される場合は、適期作業ができるよう地域で話し合い、体制整備をしましょう。